# 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算補足説明資料

東リ株式会社

（証券コード：7971）

2026年11月2日

# 2027年3月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要



(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

POINT

- 不安定な原材料調達環境の中、調達ルートの拡充や一部原材料の内製化推進などに取り組み、接着剤をはじめとする各種製品の安定供給に注力。
- 3月末以降に急騰した原材料価格の高止まりに対して、7月27日受注分より販売価格改定を実施し、収益改善に努めたことで、増収増益となる。

| | 2026年3月期 中間期(4-9月) 実績 | 2027年3月期 中間期(4-9月) 実績 | 前期比(%) | 前期差 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 52,292 | 53,658 | + 2.6% | + 1,366 |
| 売上総利益 | 15,314 | 16,024 | + 4.6% | + 709 |
| (売上高比率) | ( 29.3% ) | ( 29.9% ) | | |
| 販売費及び一般管理費 | 13,915 | 14,101 | + 1.3% | + 185 |
| (売上高比率) | ( 26.6% ) | ( 26.3% ) | | |
| 営業利益 | 1,399 | 1,923 | + 37.4% | + 523 |
| (売上高比率) | ( 2.7% ) | ( 3.6% ) | | |
| 経常利益 | 1,710 | 2,108 | + 23.3% | + 397 |
| (売上高比率) | ( 3.3% ) | ( 3.9% ) | | |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1,090 | 1,566 | + 43.6% | + 475 |
| (売上高比率) | ( 2.1% ) | ( 2.9% ) | | |

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 連結貸借対照表



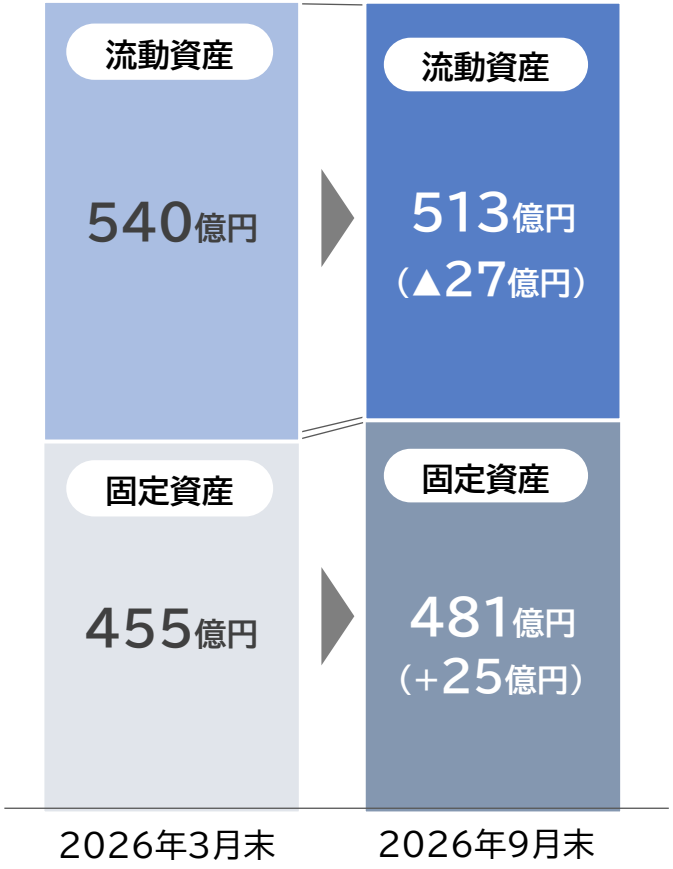
（単位：億円　※単位未満切り捨て）

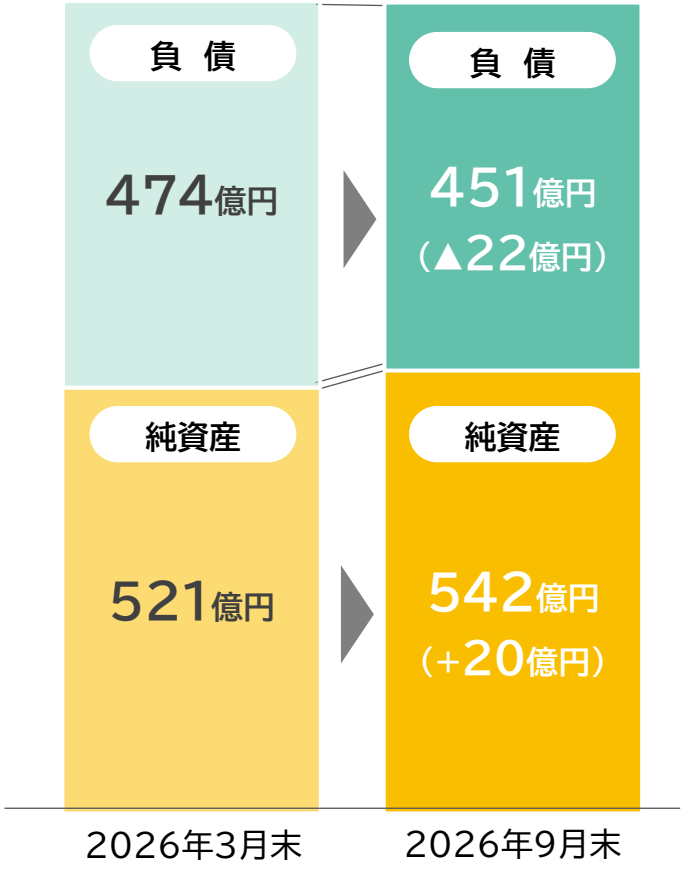
**主な変動**

流動資産：売上債権の減少▲38
　　棚卸資産の増加+22　等
固定資産：投資有価証券評価額の上昇+25
　　有形固定資産の増加+2　等

**主な変動**

負　債：仕入債務の減少▲25
　　未払法人税等の減少▲6　等
純資産：その他有価証券評価差額金の増加+17
　　利益剰余金の増加+2　等



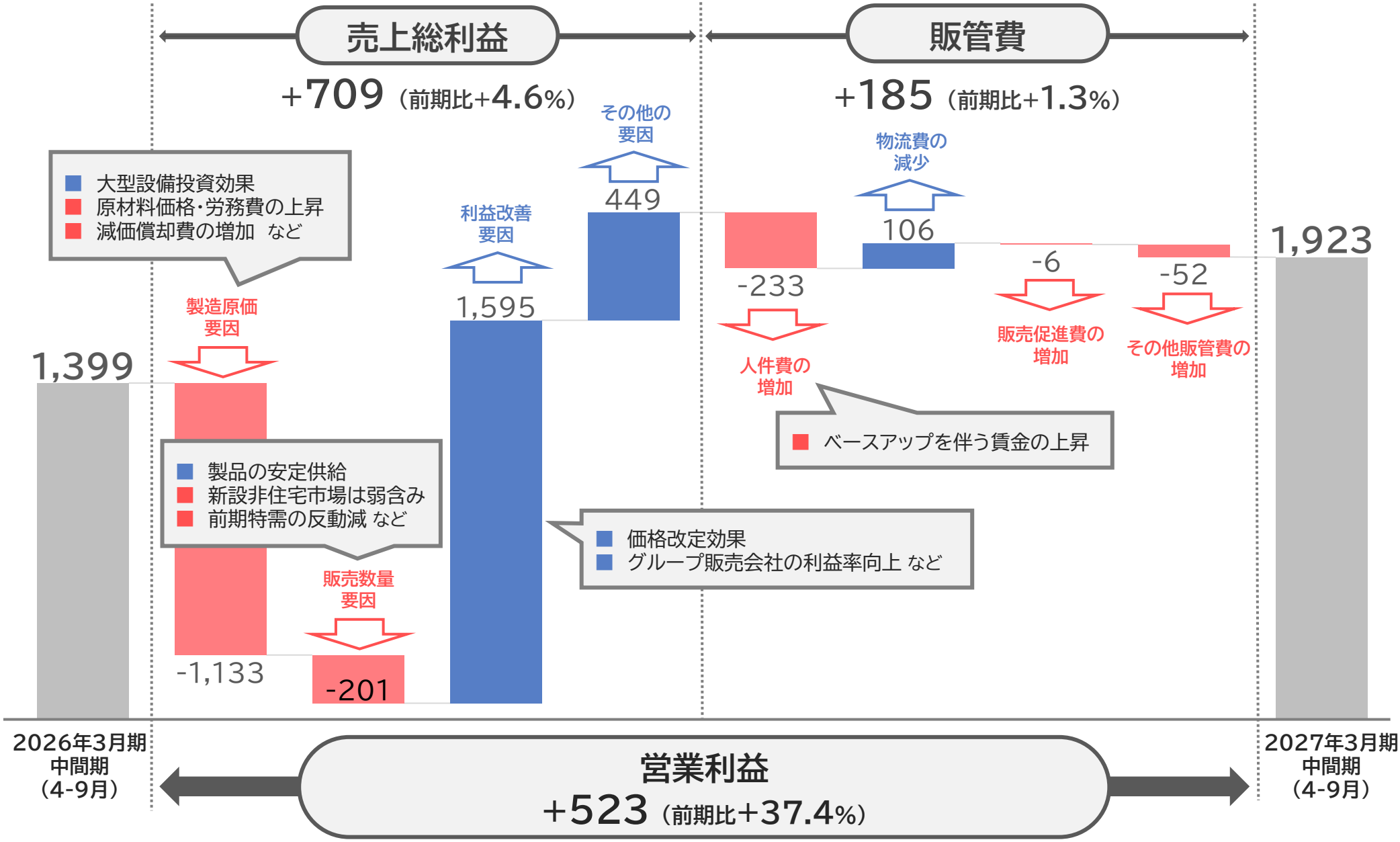




©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 連結営業利益 増減要因



（単位：百万円　※単位未満切り捨て）



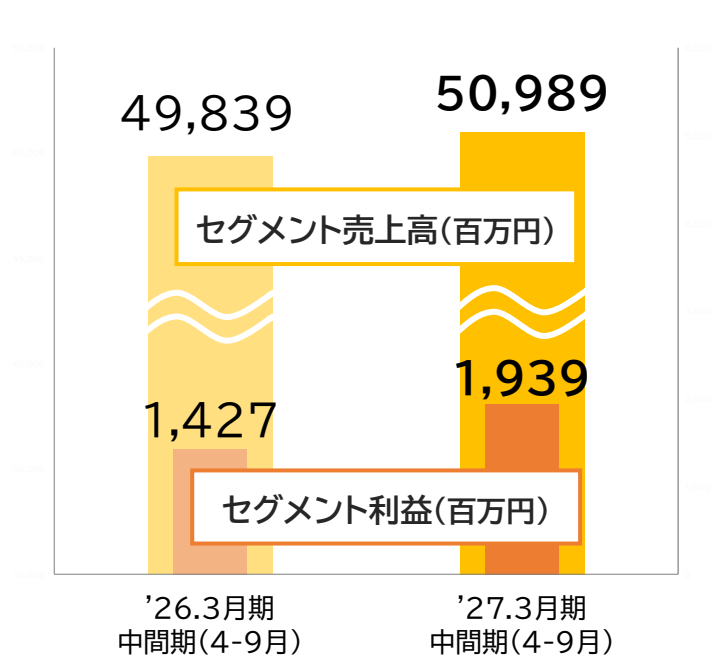

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 事業セグメント別業績のポイント



## インテリア事業

| | |
|---|---|
| 売上高 | 50,989百万円<br>前期比(+2.3%) |
| セグメント利益 | 1,939百万円<br>前期比(+35.8%) |




## 事業内容

- 東リブランド製品の製造販売
- 各種インテリア資材の仕入販売
- 内装工事　等

## 2027年3月期 中間期(4-9月) ポイント

- 不安定な原材料調達環境の中、原材料調達ルートの拡充や特に逼迫感の強かった接着剤関連の増産体制を図るなど、あらゆる施策を講じ、製品の安定供給に注力。
- 前期に続き、住宅用リフォーム商材が堅調に推移。
- 製品の安定供給に努めて販売数量の維持拡大を図り、原材料価格の高騰に対応した販売価格改定を実施した結果、セグメント利益は前年を上回る。

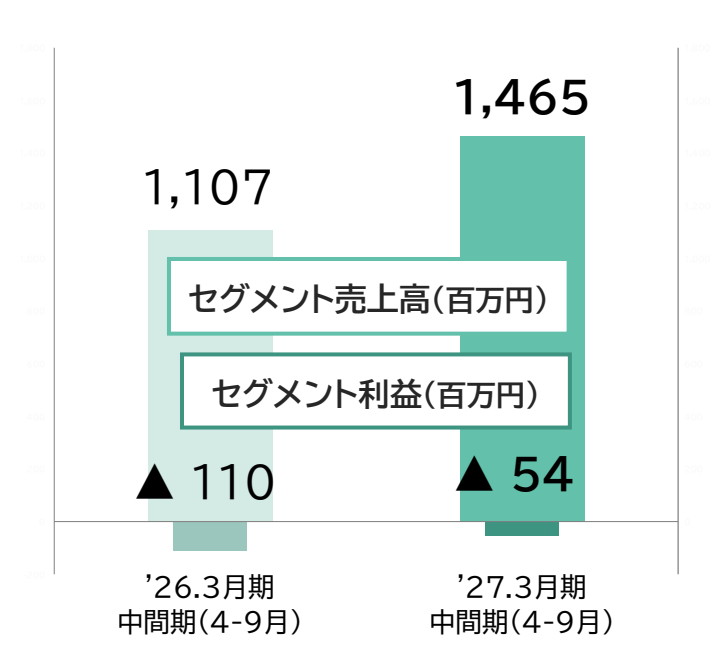
©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 事業セグメント別業績のポイント



## グローバル事業

| | |
|---|---|
| 売上高 | 1,465百万円<br>前期比(+32.3%) |
| セグメント利益 | ▲54百万円<br>(前期:▲110百万円) |




## 事業内容

- 東リブランド製品を中心とする輸出販売
- 江蘇長隆(中国合弁事業)製品の海外販売　等

## 2027年3月期 中間期(4-9月) ポイント

- 中国市場では、Eコマース市場における住宅向けタイルカーペット「東リファブリックフロア」が好調に推移。
- 北米市場では、TOLI North Americaによるエリア別代理店施策や拠点ごとの現地在庫戦略に注力。
- ASEAN、中東・インドの売上は前期を上回る。
- 増収効果、並びに販売価格改定に努めるも、人件費及び輸出コストの増加が利益を押し下げる。

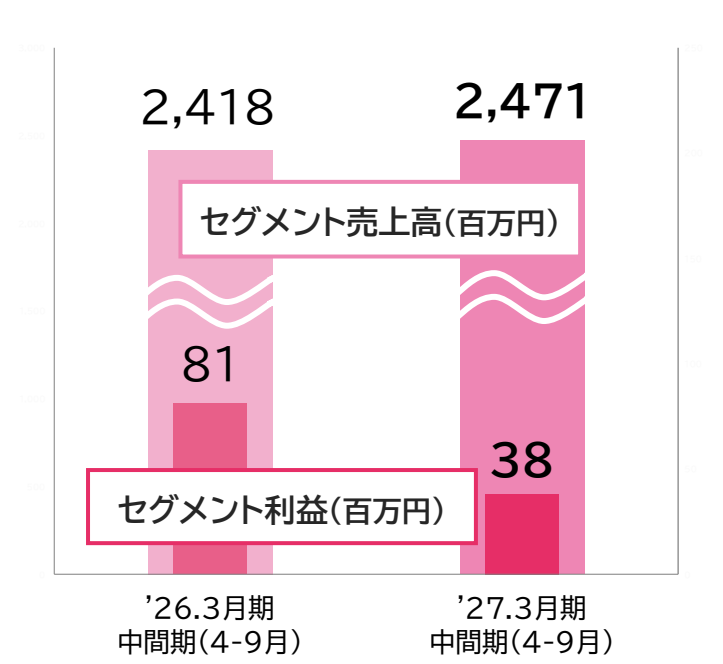
©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 事業セグメント別業績のポイント



## 建材その他事業

| | |
|---|---|
| 売上高 | 2,471百万円<br>前期比(+2.2%) |
| セグメント利益 | 38百万円<br>前期比(▲52.8%) |




### 事業内容

- 業際分野及び産業資材向け
  東リブランド製品の製造販売
- 各種建材及び住設機器の仕入れ販売　等

### 2027年3月期 中間期(4-9月) ポイント

- 浴室向けビニル床シート「バスナシリーズ」やプールサイド用途向け「NS遮熱ガーデント」が好調。
- バレーボール・卓球向け「コネクトマットシリーズ」や「アリーナフィット」など、スポーツ市場向け床材の浸透が進む。
- グループ販売会社における、建材及び住設機器の仕入れ販売は前年を下回る。
- 原材料価格の高騰や各種コストの増加により、利益は前年を下回る。

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 2027年3月期　通期連結業績見通し



（単位：百万円　※単位未満切り捨て）

POINT

- 原材料の価格高騰や不安定な調達環境が想定以上に長期化し、事業環境が大きく変容。
- 地政学リスクの長期化や金利上昇など、依然として先行き不透明な経営環境が続くものの、販売価格改定の進捗や第2四半期の業績を踏まえ、通期業績予想を上方修正（10月28日）。
- 高付加価値製品の販促活動や販売価格改定の早期浸透、並びに設備投資効果拡大に努める。

| | 2026年3月期 | 2027年3月期 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 実績 | 業績予想値（5/8発表） | 業績予想値（10/28発表） | 前期比 | 前期差 |
| 売上高 | 112,337 | 112,000 | 115,000 | 2.4% | + 2,662 |
| 営業利益 | 5,100 | 4,100 | 5,700 | 11.8% | + 599 |
| 経常利益 | 5,733 | 4,500 | 6,000 | 4.7% | + 266 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,459 | 3,400 | 4,600 | 3.2% | + 140 |

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 配当の実績推移と予想

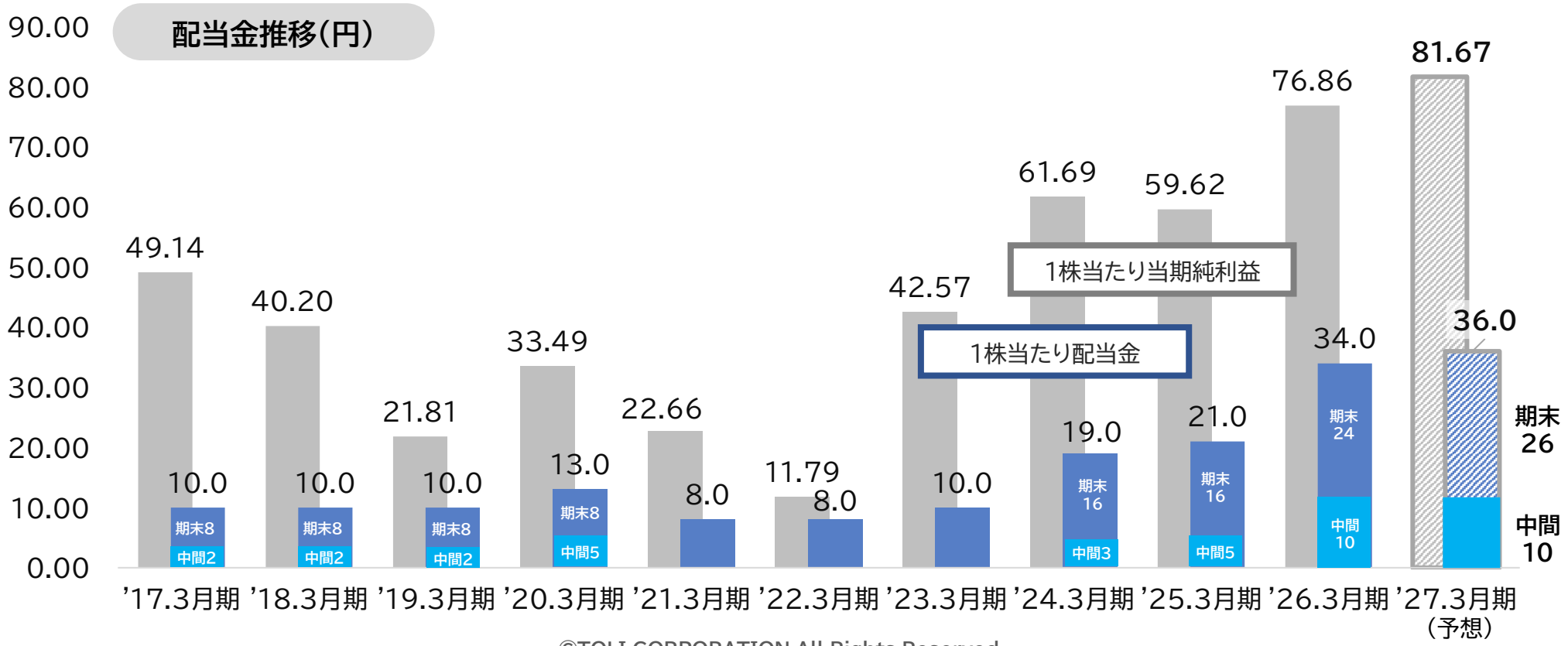


## 「SHINKA Plus ONE 2.0」(2026年3月期～2028年3月期)配当方針

中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」期間中の株主配当については、連結配当性向50%、又はDOE3.5%を目安に、安定的な配当を継続的に実施することとし、年間配当金は19円を下限とする方針。

**POINT**

上記の基本方針及び通期業績予想等を踏まえ、2027年3月期の期末配当金を前回予想(5月8日)から2円増配となる 1株当たり26円に修正。なお、1株当たり年間配当金は、中間配当金10円を合わせた1株当たり36円を予定。




©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.

# 将来見通し等に関する注意事項






本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

IRに関するお問い合わせ先

東リ株式会社　経営企画部

e-mail

toli_ir@toli.co.jp

©TOLI CORPORATION All Rights Reserved.